

報 雜

◎人 事

陸軍一等軍醫從六位勳五等 丹 原 曉 夫
 陸軍一等軍醫從六位勳五等 西 村 慶 次
 任陸軍三等軍醫正
 第十九師團軍醫部部員陸軍三等軍醫正 西 村 慶 次
 補仙臺衛戍病院附
 敦賀衛戍病院長兼歩兵第十九聯隊附陸軍二等軍醫正 山 田 昇
 補臺北衛戍病院附
 歩兵第三十九聯隊附陸軍三等軍醫正 丹 原 曉 夫
 補歩兵第十聯隊附
 陸軍二等軍醫正 長 田 祖 村
 補福山衛戍病院長兼歩兵第四十一聯隊附
 陸軍一等軍醫 菅 田 瀧
 補陸軍航空技術研究所所員
 歩兵第十一聯隊附陸軍一等軍醫 廣 津 格
 補廣島衛戍病院附
 姫路衛戍病院附兼陸軍教化隊附陸軍一等軍醫 古 田 壽 次
 補陸軍砲工學校附兼陸軍經理學校附陸軍省醫務局課員
 第十師團軍醫部部員陸軍一等軍醫 岸 本 春 榮
 補鳥取衛戍病院附
 岡山衛戍病院附陸軍一等軍醫 三 木 良 定
 補第十師團軍醫部部員
 歩兵第十聯隊附陸軍一等軍醫 葛 城 雷 次 郎
 補岡山衛戍病院附
 岡山衛戍病院附陸軍二等軍醫 安 藤 秀 夫
 補歩兵第十聯隊附 (八月一日)
 賜二等給 陸軍一等軍醫 葛 城 雷 次 郎
 (八月三日)
 正六位勳六等 牧 野 誠
 敘勳五等授瑞寶章 (昭和九年)

岡山醫科大學助教授 大 熊 泰 治

陸敘高等官三等 (八月一日)

岡山醫科大學助手陸軍三等軍醫正八位 栗 林 太 郎

任岡山醫科大學助教授

敘高等官七等

岡山醫科大學助教授 栗 林 太 郎

本俸十一級俸下賜

職務俸金四百五圓下賜

岡山醫科大學助教授 伊 丹 訓 吾

依願免本官 (八月十三日)

廣島衛戍病院附陸軍一等軍醫 跡 部 鐵 朗

兼補宇品陸軍糧秣支廠廠員 (八月二十二日)

○生山昌敏君 は豫て岡山醫科大學稻田內科教室に勤務し居られしが先般同教室を辭し山口縣岩國町岩國病院に勤務せられたり

○伊丹訓吾君 別項の如く今般岡山醫科大學助教授を辭せられたる同君は別記武田縫次君の後任として日本赤十字社岡山病院小兒科部長に就任せられたり

○武田縫次君 豫て日本赤十字社岡山病院小兒科部長として勤務し居られしが先般都合により辭職せられたり

○相原義一君 は豫て大阪市港區築港病院に勤務し居られしが今般同院を辭し大阪市東區高麗橋1丁目伊藤醫院を繼承し開業せられたり

○藤井昌展君 は豫て岡山醫科大學石山外科教室に於て研究中なりしが今般同教室を辭し三重縣多氣郡相可町に於て診療に従事せられたり

◎學位授與

生山昌敏、大岩博雅の兩君は豫て論文を岡山醫科大學に提出し學位を請求し居られしが本年6月17日の教授會を通過し本月21日醫學博士の學位を授與せられたり其の主論文及び參考論文は次の如し

生 山 昌 敏 君

主 論 文

「アチドージス」ニ於ケル無機物質代謝ニ關スル實驗的研究

其1. 體內無機物質量ニ及ボス酸ノ影響ニ關スル實驗的研究 (第1報) (日本消化機病學會雜誌第33卷第8號ニ發表ス)

其2. 體內無機物質量ニ及ボス酸ノ影響ニ關スル實驗的研究 (續報) (日本消化機病學會雜誌第34卷第2號ニ發表ス)

其3. 肝臟機能障礙時ニ於ケル無機物質ノ消長ニ關スル實驗的研究 (日本消化機病學會雜誌第34卷第3號ニ發表ノ豫定)

其4. 腎臟機能障礙時ニ於ケル無機物質ノ消長ニ關スル實驗的研究 其1
實驗的腎炎ニ於ケル無機物質ノ消長ニ就テ (日本消化機病學會雜誌第34卷第1號ニ發表ノ豫定)

其5. 腎臟機能障礙時ニ於ケル無機物質ノ消長ニ關スル實驗的研究 其2
腎炎家兎ニ於ケル無機物質ノ消長ニ及ボス酸ノ影響ニ就テ (日本消化機病學會雜誌第34卷第7號ニ發表ノ豫定)

其6. 腎臟機能障礙時ニ於ケル無機物質ノ消長ニ關スル實驗的研究 其3
兩側輸尿管結紮並ニ兩腎摘出時ニ於ケル無機物質ノ消長ニ就テ (日本消化機病學會雜誌第34卷第8號ニ發表ノ豫定)

參考論文

其1. 所謂葡萄糖二重負荷試驗ニ關スル研究 (生山昌敏、林孝彦、原勝巳共著) (本誌第42年第1號ニ發表セリ)

其2. 肺結核患者ノ減鹽食療法(尿分析成績) (生山昌敏、蜂谷道彦共著) (本誌第45年第8號ニ發表セリ)

其3. 肺結核患者ノ血清「トリプトファン」量ニ關スル臨牀的研究 (生山昌敏、山名堅二、石井磐夫共著) (日本內科學會雜誌第23卷第3號ニ發表ノ豫定)

大 岩 博 雅 君

主 論 文

抗體ノ結合並ニ分離ニ關スル研究補遺

1. 特異沈降物分離沈降物並ニ沈降素分離抗原的作用ニ就テ (本誌第46年第4號ニ發表セリ)

2. 抗體分離液ヘノ抗原移行抑止ト分離抗體量増加ニ就テ (本誌第46年第5號ニ發表セリ)

3. 生體內ニ於ケル抗體及ビ抗原ノ結合並ニ分離ニ就テ (本誌第46年第6號ニ發表セリ)

4. 補體ノ吸收並ニ再分離ニ就テ (追テ本誌ニ發表ノ豫定)

參考論文

1. 沈降素沈降原結合殘渣(上清)ノSchock惹起作用ニ就テ (本誌第46年第10號ニ發表セリ)

2. 濾過細菌抗原ノ比較研究 (本誌第46年第8號ニ發表セリ)

3. 血清中ノ抗原補體並ニ酵素ノ保有期間ニ關スル研究補遺 (本誌第46年第9號ニ發表セリ)

4. 血液型ト精神型トノ關係ニ就テノ研究 (海軍軍醫學會雜誌第19卷第5號ニ發表セリ)

◎徳島通信

徳島高松間鐵道開通の第2日(3月21日)田村岡山醫大學長には御試乗と鳴門觀潮に御出でに成られた。今迄京阪地方に大學の先生方の來訪は有つた様子であるが四國殊に徳島には初めてであらう。最も敷波、八木田の兩先生が前日開通の式に御列席になられた由後で承はつたので有つたが、今後此線で先生方をお迎へする機會も多くなる事と期待してゐる所である。

前日濱崎助教授より電報で知らせは有つたが餘り急迫の事とて一般に通知する暇もなく不取敢市内及び近郊の門弟で驛頭にお迎へ申上げた様な次第であつた。徳島では蜂須賀侯の城山より市内を御案内、説明申上げ後公園太陽軒で歡迎の組宴を開き岡岡先輩の發言で田村學長の御健康と大學の發展とを祈つて乾盃し撫養へ御送り申上げた。撫養町では山田君の多大なる骨折に就ては特記せねばならぬ即ち用意萬端整へ居り總てが極めて順序良く行きし事は記するに値あり、大石君と2人の案内で鳴門山頂に達し四方の眺望を俯瞰し怪巖

の散在せる中に潮の奔流せる雄大さには御満足の様でした。撫養での歡迎宴に御臨みになり午後7時過御歸岡になられた。



當日の出席者は

田岡、佐藤、藤江、桂(正)、桂(保)、藤川、今村(軍醫)、川島、吉田、内島、近藤、山田、大石、遠藤の諸氏

(吉田記)

岡山醫學會通常會

同會第364回通常會は本年9月19日午後4時より
岡山醫科大學に於て開會す

◎ 浮田氏論文正誤表

第 1 報 (47 年第 6 號)

頁	誤	正
1550	滅(右下ヨリ 2 行目)	滅
1552	鳥(左上ヨリ 12 行目)	魚
1554	赤血球球(右下ヨリ 17 行目)	赤血球
1555	貧血性家兎(右下ヨリ 11 行目)	貧血家兎
1557	藥局法(左下ヨリ 15 行目) 但 2 箇所	藥局方
◇	1% Kresylblaua- (右下ヨリ 2 行目)	1% Brillantkresylblaua-
1574	↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓(第 4 圖(1)「ヘパトーゼ」投與	↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓
1580	◇ (第 6 圖(3) 鐵「エ」及ビ硫酸銅注射)	◇
1582	◇ (第 7 圖(1) 及ビ(2) 還元鐵投與)	◇
1584	驗實(右上ヨリ 18 行目)	實驗
1591	赤血球數減ハ(右上ヨリ 7 行目)	赤血球數減少ハ
1612	増田(左下端)	増原

第 2 報 (47 年第 7 號)

頁	誤	正
1775	血色素量ト(左下ヨリ 16 行目)	血色素量
1777	Willam(右上ヨリ 8 行目)	William
◇	Adersbergu. (右上ヨリ 18 行目)	Adersberg u.
1780	平均價(第 1 表(1) 及ビ(2))	平均值
◇	35.0?(第 1 表)(1) 24 時間. 上ヨリ 2 行目)	35.0?
1782	健常家兎ハ(左下ヨリ 3 行目)	健常家兎ニ於テハ
1793	159(第 5 表)(3) 赤血球數. 上ヨリ 4 行目)	559
1796	539(第 6 表)(2) 赤血球數. 上ヨリ 3 行目)	439
◇	1.50(同上. 色彩指數. 上ヨリ 1 行目)	1.56
◇	28.0!(同上. 24 時間. 下ヨリ 3 行目)	28.0
1800	緩浸(右下ヨリ 2 行目)	緩漫
1807	24.2(第 9 圖(2) 網狀赤血球. 第 3 日)	14.2
1815	適當刺戟ナル(右下ヨリ 6 行目)	適當刺戟量ナル
1831	主唱者トシテ(右上ヨリ 9 行目)	主唱者ニシテ
1834	Naun-Schmiedbergers(右下ヨリ 18 行目)	Naunyn-Schmiedbergers
◇	1932(右下ヨリ 15 行目)	1923